

12月19日(水)から 駅係員・乗務員の制服を刷新します

～コンセプトは、『“つ・な・が・る・き・ず・な”』～

阪堺電気軌道株式会社（本社：大阪市住吉区／社長：山本 拓郎）では、12月19日（水）から、駅係員や乗務員が着用する運輸部門の制服を刷新いたします。

現在着用している制服（紺色のジャケット・パンツ）は、平成5年に親会社の南海電鉄が制定したのですが、本年の4月1日に阪堺線が全線開通100周年を迎えたことから、次の100年に向け当社が新たな一步を踏み出すにあたって刷新することとしました。

新しい制服は、より一層お客さまや沿線地域の方々との『繋がり（つながり）』と『絆（きずな）』を大切にしたいとの思いから、新しい制服のコンセプトを『“つ・な・が・る・き・ず・な”』とし、歴史と伝統を感じさせ、また新たな時代を表現した『独自性』に加え、『機能性』と『経済性』も向上させました。

また、当社では、今般の制服刷新を機に、今後もさらなるサービスの向上を図り、「安全・安心」はもとより、より地域に密着した公共交通機関の役割を果たしていく所存であります。

なお、新しい制服の詳細については、別紙を参照願います。



左：助役・現場長 右：乗務員・駅係員

○新しい制服の概要

1. コンセプト

これまで南海グループの一員として、平成14年の完全分社化後もそれまでと同じ制服を着用しておりましたが、阪堺線開通100周年の節目を契機として、次の新たな100年に向けて進んでいくために、お客さまと接する機会が多い駅係員と乗務員及び本社員（技術課を除く）の制服を刷新することにいたしました。

地域に根ざした公共交通機関として、100年を超える歴史や伝統とともに、沿線の人々や地域を結んできた「絆（きずな）」をこれからも繋いでいきたいとの思いから、新しい制服のコンセプトを『“つ・な・が・る・き・ず・な”』とし、デザインやカラーを決定しました。

2. 特徴

チャコールグレーとブラックのセパレートタイプで「歴史と品位」を、帽子をドゴール型にし、細身のラペルとワンタックパンツで流行を取り入れ洗練されたシルエットにより「信頼と清潔感」を表現。また、左右の襟先を黒でアクセントし、ネクタイを色調の違う2種類にし、従業員が自由に選べる選択制にすることで、『独自性』を持たせました。

また、背面の両腕部分をアクションプリーツ、裾をサイドベンツ、コートを従来のロングコートからハーフコートにし『機能性』を、さらに、ズボンのウエスト部分に脇ゴムを採用することで従来のサイズ数を減数させ、制服の生地素材を変更し耐用年数を伸ばすことにより『経済性』を向上させています。

3. 着用開始日

平成24年12月19日（水）始発から

4. 着用対象者

駅係員・乗務員・本社員（技術課を除く）

以上